

どうぶつのひみつクイズをつくろう

2年
国語「ビーバーの大工事」
資料の活用

ねらい

- 動物のひみつを資料から見つけ、そのひみつが答えになるようなクイズをつくることができる。
- 動物について書いてある本から「すごい」「不思議だ」と思ったことを見つければ、「そのままカード」に書き抜くことができる。

学 習 展 開

- ①先輩が作ったどうぶつのひみつクイズをプレゼンを使って紹介し、興味づける。
- ②学習のめあてを確認する。
- ③資料から「不思議だ」「すごい」ということを探し、それを「そのままカード」に書き写すこと、請求記号、資料名も書くことを指導する。
- ④ひみつを見つければ、カードに記録する。
- ⑤見つけたひみつが答えとなるような問題文を作る方法を指導する。
- ⑥「もんだいカード」に問題文を書く。
- ⑦「もんだいカード」と「そのままカード」を裏表に貼り付け、完成させる。

(写真、作品、ブックトークテーマ等)



本を調べ「そのままカード」に記録する

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書はこれまでのブックリストをもとに2年生が自力で読める資料を準備する。
- 司書教諭は、クイズを紹介し、調べたことをカードに記録する方法を指導する。
- 司書教諭と担任は、ワークシートやクイズの形式について話し合う。
- 司書教諭、学校司書は、調べる活動をT2、T3として支援する。

★指導のポイント

- ◆ 4類の資料を使用するので、分類についての指導も簡単に行う。
- ◆ たくさんある文章の中から、自分が「すごい」「不思議だ」と思ったことをなるべく1文でそのまま書き抜くように指導する。
- ◆ 完成した作品は、一部図書館にも保存する。

資料

「どうぶつのからだ」シリーズ (増井光子 監修)「どうぶつのからだ これ、なあに？」シリーズ (今泉忠明 監修) など。別紙ブックリスト参照のこと。
「藤田式「調べる学習指導法」」(藤田利江/子どもの未来社)